

はじめに

このたびは、弊社のFMV-BIBLOまたはFMV-LIFEBOOK用FDDユニット(USB) (FMV-NFD52S)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、FDDユニット(USB) (以下、本装置)の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2003年10月

●梱包物を確認してください

- | | |
|----------------------------|------------|
| ●FDDユニット(USB) (FMV-NFD52S) | ●取扱説明書(本書) |
| ●保証書 | |

万一不足しているものがあつた場合は、恐れ入りますがご購入元にご連絡ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

●安全のため注意事項をお守りください。


この“安全上のご注意”をよくお読みください。

●故障したら使わないでください。

不具合が生じた場合はそのままお使いにならず、故障・修理に関するお問合せ先(「お問合せ」→P.8)、またはご購入元へご連絡ください。

●警告表示の意味

本書では、次の表示をしています。表示の内容を理解してから本文をお読みください。

絵記号	意味
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

製品の呼びかたについて

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

Microsoft® Windows® XP Professionalを、Windows XPと表記しています。

Microsoft® Windows® XP Home Editionを、Windows XPと表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Editionを、Windows Meと表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professionalを、Windows 2000と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONを、Windows 98と表記しています。

All Rights Reserved, Copyright® FUJITSU LIMITED 2002-2003

概要

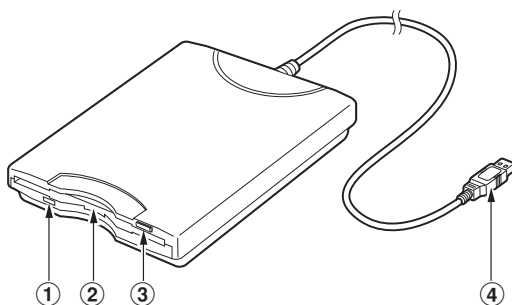
本装置は、FMV-BIBLOまたはFMV-LIFEBOOK(以降、パソコン本体)専用のFDDユニットです。

本装置は、パソコン本体に接続することにより、3モード対応のフロッピーディスクドライブとして使用できます。また、電源はパソコン本体から供給されます。

Point

- 本装置を接続できる機種については、「カタログ」などをご覧ください。

各部の名称と働き



① アクセスランプ

フロッピーディスクドライブの動作中に点灯します。

② フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクにデータを書き込んだり、フロッピーディスクからデータを読み出したりします。

③ フロッピーディスク取り出しボタン

フロッピーディスクを取り出すときに押します。

④ 接続コネクタ

パソコン本体と本装置を接続するコネクタです。

取り扱い上の注意

⚠ 注意

故障を防ぐため、本装置をお使いになる場合は、下記の事項に注意してください。

- 本装置の上に物を載せないでください。
- 極端に高温、低温の場所、温度変化の激しい場所での使用・保管は避けてください。
- 直射日光のあたる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- 磁石のそばや強い磁界を発生する場所での使用・保管は避けてください。
- 衝撃や振動の加わる場所での使用・保管は避けてください。
- 湿気やほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。
- 腐食性ガスが発生する場所、潮風が当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 通気性、換気性のよい場所でお使いください。
- 内部に液体や金属など異物が入った状態で使用しないでください。何か異物が入ったときは、故障・修理に関するお問合せ先(「お問合せ」→P.8)、またはご購入元へご連絡ください。
- 本装置のアクセスランプが点灯中は、フロッピーディスクを取り出したり、パソコン本体の電源を切らないでください。データが破壊されたり、フロッピーディスクが使用できなくなるおそれがあります。また、本装置の故障の原因となります。
- 汚れは、やわらかい布でからぶきするか、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- 分解したり、解体したりしないでください。

フロッピーディスクの注意

⚠ 注意

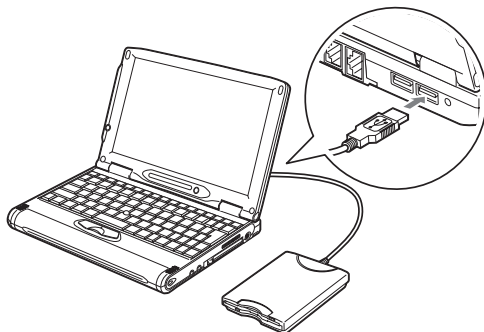
故障の原因となるので、フロッピーディスクをお使いになるときは、次の点に注意してください。

- コーヒーなどの液体をかけないでください。
- 温度の高い場所や直射日光の当たる場所には置かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 曲げたり、重い物をのせたりしないでください。
- シャッターを開いて中のディスク面に触れないでください。
- 外部ディスプレイや液晶ディスプレイ、またはACアダプタなどの磁気を帯びたものに近づけないでください。
- ラベルを重ねて貼らないでください(新しいラベルを貼るときは古いラベルをはがしててください)。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

パソコン本体への接続

1 本装置を取り付けます。

パソコン本体のUSBコネクタに、本装置のコネクタをまっすぐ差し込んでください。



Point

- パソコン本体への接続については、パソコン本体に添付のマニュアルも併せてご覧ください。
- 本装置のアクセスランプが点灯中にコネクタを取り外すと、ディスク内のデータが壊れるおそれがあります。

デバイスドライバのインストールについて

Windows 98 ではデバイスドライバが必要ですが、パソコン本体のハードディスクにインストール済です。本装置をパソコン本体に取り付けた際に、「新しいハードウェアの追加ウィザード」というメッセージが表示された場合は、以下の手順で設定を行ってください。


- 1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログで「次へ」をクリックします。
- 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を有効にし、「次へ」をクリックします。
- 3 「検索場所の指定」をチェックし、「参照」をクリックします。
- 4 ドライバがあるフォルダを選択し、「OK」をクリックします。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 「ドライバがある場所」が正しく表示されているか確認して、「次へ」をクリックします。
- 7 「完了」をクリックします。
しばらくすると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されます。
- 8 「次へ」をクリックします。
- 9 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を有効にし、「次へ」をクリックします。
- 10 「検索場所の指定」にドライバがあるフォルダ名が表示されているか確認し、「次へ」をクリックします。
表示されていない場合は、「参照」をクリックして、ドライバがあるフォルダを選択してください。
- 11 「更新されたドライバ(推奨)」が有効になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 12 ドライバがある場所が正しいか確認して、「次へ」をクリックします。
- 13 「完了」をクリックします。

以上でインストール作業は終了です。「マイコンピュータ」アイコンをクリックして本装置が認識されていることを確認してください。

パソコン本体からの取り外し

USBは「ホットプラグ」に対応しています。パソコン本体の電源を入れた状態で、コネクタの接続／取り外しができます。取り外す前に次の手順を行ってください。

●Windows XPの場合

- 1 画面右下(タスクバー)のアイコン  をクリックします。

次のように表示されます。

Y-E Data USB Floppy - ドライブ (A) を安全に取り外します

- 2 「Y-E Data USB Floppy - ドライブ(A)を安全に取り外します」をクリックします。
- 3 「Y-E Data USB Floppyは安全に取り外すことができます。」とメッセージが表示されるのを確認します。
- 4 コネクタを取り外します。

●Windows Meの場合

- 1 画面右下(タスクバー)のアイコン  をクリックします。

次のように表示されます。

USB フロッピー - ドライブ (A) の停止

- 2 「USBフロッピー - ドライブ(A)の停止」をクリックします。
- 3 「USBフロッピーは安全に取り外すことができます。」とメッセージが表示されるのを確認して、「OK」をクリックします。
- 4 コネクタを取り外します。

●Windows 2000の場合

- 1 画面右下(タスクバー)のアイコン  をクリックします。

次のように表示されます。

Y-E Data USB Floppy - ドライブ (A) を停止します

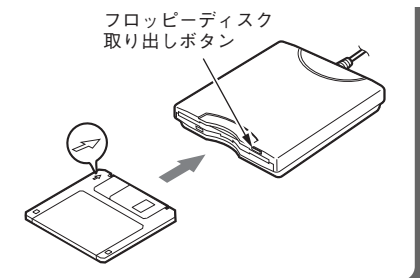
- 2 「Y-E Data USB Floppy - ドライブ(A)を停止します」をクリックします。
- 3 「Y-E Data USB Floppyは安全に取り外すことができます。」とメッセージが表示されるのを確認して、「OK」をクリックします。
- 4 コネクタを取り外します。

フロッピーディスクのセット／取り出し

ここではフロッピーディスクのセット／取り出しについて説明します。

●セット

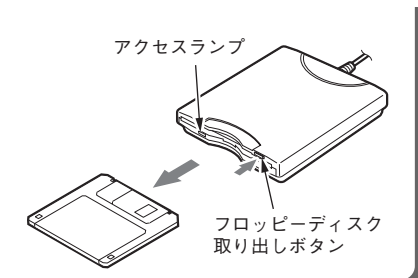
フロッピーディスクドライブに差し込みます。



ラベルを上向きに、シャッタのある側から、フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、ゆっくりと水平に差し込みます。

●取り出し

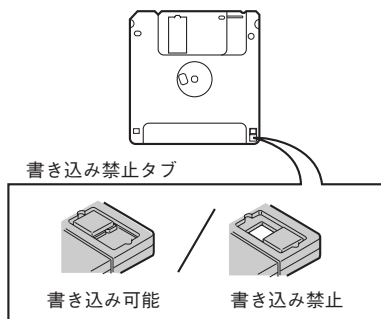
フロッピーディスク取り出しボタンを押します。



本装置のアクセスランプが消えていることを確認して、フロッピーディスク取り出しボタンを押します。

Point

- 本装置のアクセスランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出すと、ディスク内のデータが壊れるおそれがあります。
- フロッピーディスクに保存してある情報を消したくないときや、追加して書き込みたくないときは、フロッピーディスクの書き込み禁止タブをスライドさせ、穴があいた状態(書き込み禁止の状態)にします。再び情報を書き込みたいときは、書き込み禁止タブをスライドさせ、穴が閉じた状態にします。
- 本装置でお使いになれるフロッピーディスクは、以下のとおりです。
 - ・3.5インチフロッピーディスク 2DDタイプ(DOS/Vフォーマット)
 - ・3.5インチフロッピーディスク 2HDタイプ(DOS/Vフォーマット)
- 本装置にセットしたフロッピーディスクからパソコン本体を起動する方法については、パソコン本体に添付のマニュアルをご覧ください。



ヘッドクリーニングについて

フロッピーディスクドライブは長い間使用していると、ヘッド(データを読み書きする部分)が汚れてきます。ヘッドが汚れると、記録したデータを正常に読み書きできなくなります。別売のクリーニングフロッピーを使い、3ヵ月に1回程度の割合で清掃してください。

Point

- お使いの機種により、下記のクリーニング方法とは異なる場合があります。パソコン本体に添付のマニュアルも併せてご覧ください。

用意するもの

サプライ品： クリーニングフロッピーマイクロ 商品番号: 0212116
(富士通コワーコ株式会社 ☎03-3342-5375)

- 1 クリーニングフロッピーをセットし、「マイコンピュータ」からドライブを選択し、アクセスします。「ディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか?」の表示が出たら、「いいえ」をクリックします。
- 2 本装置のアクセスランプが消えているのを確認し、クリーニングフロッピーを取り出します。

以上でクリーニングは終了です。

サポート媒体について

媒体種別	Windows XP 注1		Windows Me 注1		Windows 2000 注1		Windows 98 注2	
	読み書き	フォーマット	読み書き	フォーマット	読み書き	フォーマット	読み書き	フォーマット
1.44MB	○	○	○	○	○	○	○	○
1.23MB	○注3	×	×	×	○	○	○注4	×
1.2MB	○	×	×	×	○	○	○注4	×
720KB	○	×	○	○	○	○	○	○
640KB	×	×	×	×	×	×	×	×

注1) デバイスドライバ不要

注2) デバイスドライバ要

注3) 1.23MB(1024バイト/セクタ)の媒体を正しく認識できない場合は、一度1.44MBの媒体を読み込んでから再度ご使用ください。

注4) 1.23MB/1.2MB媒体はFMVでフォーマットしたもの以外はアクセスできないことがあります。

※： 1KB = 1024Byte, 1MB = 1000×1KB

お問合せ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれの「お問合せ先」にご相談ください。

● 故障・修理に関するお問合せ先

・法人のお客様……「富士通ハードウェア修理・相談センター」(フリーダイヤル 0120-442-297)

・個人のお客様……「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(フリーダイヤル 0120-950-222)

● 技術的な質問に関するお問合せ先

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」(フリーダイヤル 0120-950-222)

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。

- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。

お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

- お問合せ時間 9:00 ~ 17:00(土日祝日、年末年始を除く)

仕 様

項 目	仕 様
外形寸法	142.0×103.5×17.0 mm (±2 mm)
質 量	約265 g
消費電力	500mA以下
記憶媒体	3.5インチフロッピーディスク 高密度(2HD)、倍密度(2DD)
インターフェース	USB1.1

※: 記憶容量は「サポート媒体について」を参照してください。

FMV-BIBLO FMV-LIFEBOOK FDDユニット (USB) (FMV-NFD52S)

取扱説明書

B5FY - 1891 - 03 - 00

発行日 2003年10月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

Ⓜ0210-1



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



* B 5 F Y 1 8 9 1 0 3 *